

第2回 政策企画会議 会議概要

開催日	2023年2月8日（水曜日）
議 題	令和5年度の施政方針について
担当部署	企画部企画課

事案の概要

- 令和5年度の施政方針について確認する。
（確認事項）
・構成及び内容

主な意見

- 上記確認事項について了承した。

今後の方向性・結論

- 令和5年度の施政方針として決定し、令和5年第1回定例会にて表明する。

令和5年度の施政方針について

令和5年度の施政方針を次のとおり、決定する。

Ⅰ 社会経済の動向を踏まえた区政の方向性

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しているが、区内各地でさまざまなイベントが開催されるなど、中野に活気と賑わいが戻ってきている。区民が培ってきた地域の力を再起させ、区民と区が協働して活力溢れるまちをつくっていくため、令和5年度は、社会経済の動向を注視し、以下の区政課題に対し適時適切に取り組んでいく。

（１）感染対策

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類感染症に移行することを踏まえ、一般の医療機関で患者を受け入れるための感染防止や必要な病床の確保、公共施設等でのマスク着脱の目安提示など、「ポストコロナ」として求められる感染対応や活動支援に取り組むこと。

（２）物価高騰・経済対策

昨年来の物価高騰が続く、東京都区部における消費者物価指数は高い水準で物価の上昇が続いている。区民生活にどのような影響を及ぼしていくかを見極め、必要に応じて機動的に対策を講じること。

（３）子育て先進区

国における「次元の異なる少子化対策」や都における「チルドレンファースト」政策は、区として取り組んできた「子育て先進区」の実現に寄与するものであり、国や都の動向については注視すべきである。子育て世代や地域、子どもたちと対話を重ね、子育て・子育ての課題を明らかにし、それらの解決に向けて取り組むこと。

（４）新庁舎移転、デジタルトランスフォーメーション

令和6年5月に予定されている新庁舎への移転にあたり、プロセスを共有して円滑に進めるとともに、区民サービス提供に支障を来すことのないよう、全庁一丸となって取り組むこと。

今後、区が様々なサービスの提供や取組を進める上で、新たな技術やサービスの動向を捉え、区民の利便性の向上に資するよう、試行や検証を重ねながらチャレンジすること。

（５）中野駅周辺、西武新宿線沿線まちづくり

中野駅周辺まちづくりは、各地区整備が進展しており、各地区事業者はじめステークホルダーとの連携・調整を密に行うとともに、安全対策を徹底して着実に進めること。

西武新宿線連続立体交差化の早期実現に向けて都等との調整を図るとともに、西武新宿線沿線各地区まちづくりにあたっては、地元との協力関係を築きながら進めること。

(6) 基本構想の実現

10年後に目指すまちの姿を描いた基本構想の実現に向けて、区民、団体、事業者と協働して施策や事業を進めること。基本計画における後期（令和5～7年度）の取組を着実に推進するため、後期を計画期間とした実施計画を策定するとともに、3つの重点プロジェクトにおける先導的事業の明確化を図り、戦略的に取り組むこと。

(7) 持続可能な財政運営

社会経済状況が不透明な状況の中では、一層国や都の動向を注視し、区として安定的な財源を確保していく必要がある。また、歳出にあたっては、人口動向や行政需要を見定め、効果的かつ効率的に区民サービスの提供を行っていかねばならない。財政規律を守り、基金の積み立てや活用を計画的に進め、持続可能な財政運営を確立すること。

2 子どもにやさしいまちへ（「子育て先進区」の実現に向けて）

「中野区子どもの権利に関する条例」に基づき、子どもの権利の普及啓発、子どものセーフティネットの強化、子育て・子育てに寄与する取組、教育の質向上と不登校対策をはじめとした教育課題への対応を着実に進めていく。

（主な取組）

- (1) 子どものセーフティネット
- (2) 子育て・子育て環境の充実
- (3) 教育の質向上、区立小中学校の指導体制・組織体制の充実
- (4) 教育相談体制の充実
- (5) コミュニティスクールの推進
- (6) 体験活動・読書活動の充実

3 困っているひとにやさしいまちへ（地域包括ケア体制の実現に向けて）

「中野区地域包括ケア総合アクションプラン」に基づき、包括的な相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援の3つを柱として、相談支援の質を向上するとともに、区民・団体と連携した地域づくりや関係機関を巻き込んだ基盤づくりを進めていく。

第10期中野区健康福祉審議会を設置し、「中野区地域福祉計画」や「中野区スポーツ・健康づくり推進計画」の改定などを行いながら、新型コロナウイルス感染症への対策をはじめ、健康づくり、障害のある方への支援を充実させる。

（主な取組）

- (1) 支えあい活動の推進・介護人材の確保
- (2) 区民公益活動の充実
- (3) 多文化共生の推進
- (4) 障害者支援
- (5) 健康づくり

4 安全で活力あるまちへ（活力ある持続可能なまちの実現に向けて）

中野駅周辺の再整備を核として、多様性を認め合い、様々な主体による連携・協力により中野のまちをデザインし、歴史と未来をつなぐまちづくり、文化・芸術を育むまちづくりを、市内の体制を強化して進めていく。

昨年、１０年ぶりに見直された首都直下地震の被害想定なども踏まえ、ハード・ソフト両面の防災まちづくりを着実に進める。

「２０５０ゼロカーボンシティなかの」の実現に向けた取組を実施していく。

（主な取組）

- （１） 文化・芸術活動の振興
- （２） 区内経済支援
- （３） 中野駅周辺まちづくりとにぎわいの創出
- （４） 西武新宿線沿線まちづくり
- （５） 防災まちづくり、防災対策の推進
- （６） 脱炭素社会の実現に向けた取組の推進
- （７） 景観施策の推進
- （８） 交通環境の整備

5 ３つのプロジェクトを推進するために（持続可能な区政運営の取組）

支え、支えられるお互いさまの地域社会を実現していくためには、「サステナビリティ」が不可欠である。その一環として、新庁舎への移転を契機とした DX を進める。

新しい働き方を推進する。区民にとって、もっと役に立つ便利な区役所に、職員にとっても働きやすい環境を整備していく。

（主な取組）

- （１） 基本計画の実施計画策定、資産の有効活用推進
- （２） 区ホームページのリニューアル、統合型 GIS の構築・運用
- （３） 行政手続きのオンライン化の推進
- （４） ペーパーレス化の推進
- （５） 職員の人材育成強化